

令和8年度 学校マネジメントシート

学校名(四日市西高等学校)

1 目指す姿

(1)目指す学校の姿	・自主・自律をモットーに、地域から信頼される活力ある進学校を目指します。	
(2)	育みたい資質・能力 (育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	・自ら学ぶ喜び、わかる楽しさを実感できる生徒。 ・生徒一人ひとりの持つ力を伸ばし、それぞれの目指す進路を実現できる生徒。
	ありたい 教職員の姿	・教育の専門集団として力を高め、協働して活力ある教育活動を創造できる教職員。 ・「信頼」を軸に、生徒及び保護者をはじめ全ての関係者との絆を深め、安全で安心して学べる教育環境を創造できる教職員。

2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒>学習指導などをおして、粘り強く進路実現をしたいと望んでいます。しかし、やや受動的傾向があり、自分から積極的な行動に移せない一面がみられます。</p> <p><保護者>様々な情報提供を受けて、子どもの成長を実感し、本人が望む進路選択をさせたいと望んでいます。</p> <p><地域>地元の中学生が入学したいと思える、頼れる学校であってほしいと期待されています。</p>	
(2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>・地域の保こ小中からは、模範となる高校生としての行動を期待されています。</p> <p>・保護者からは、生徒が自己実現を果たせるよう、希望する大学などへ円滑に接続できる、確かな学力や生きる力をつける指導が期待されています。</p>	<p>・桜地域の高校として、本校の教育活動に理解・支援いただくとともに、忌憚のない意見や提言をいただきたい。</p> <p>・小中高の一層の連携を深め、地域全体で生徒を育む取組を一緒に進めていただきたい。</p>
(3)前年度の学校関係者評価など	<p>・各種アンケートについては、学年間で比較ができるようにしたほうが良い。</p> <p>・地域への情報発信について、新聞への掲載などを通じて今後も深めてほしい。</p> <p>・地域の中学校との連携などを検討してはどうか。</p>	
(4)現状と課題	教育活動	<p>・多くの生徒が4年制大学に進学する普通科高校で、卒業生は地元をはじめ全国各地で活躍しています。普通科の中に比較文化・歴史コース、数理情報コースを設置して、普通科の中から、さらに学びの視野を広げ、難関大学への進学という自己実現を図りたいとする要望に応えています。入学者選抜では、前期選抜で各コースの定員の25%、後期選抜で残り75%を両コースのくくり募集としています。</p> <p>・例年、近隣の中学校からの入学者が多く、本校の教育活動が地域から評価と信頼を得ていると判断できます。一方で生徒の学力や興味・関心は以前よりも多様となり、一人ひとりの状況に応じて満足いく高校生活や進路を実現させていくことが引き続きの課題です。</p> <p>・私学無償化の影響もあり、入学者選抜において大幅な定員割れとなったことから、本校の取組について広報活動の充実を図るとともに、中学校との連携に取り組む必要があります。</p>
	学校運営等	<p>・安全で安心して学べる教育環境づくりに努めています。</p> <p>・大規模地震等災害に備え、四日市市の指定避難所として地域住民の防災避難訓練等を受け入れています。</p> <p>・教職員の総勤務時間の縮減と勤務の平準化が課題となっていることから、業務を精選し、教育活動を行う必要があります。</p> <p>・教職員による不祥事が県内で発生していることから職務に対する責任感を継続的に認識させることや管理職や同僚に相談しやすい雰囲気作りに努める必要があります。</p>

3 中長期的な重点目標

<p>教育活動 【カリキュラム・ポリシー】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導 <ul style="list-style-type: none"> ① ICTを活用した質の高い授業の創造に努め、生徒が自ら学ぶ喜び、わかる楽しさを実感出来るよう授業の充実を図ります。 ② 教科マネジメントを確立することにより、学びの仕組みを十分に機能させ、基礎学力の定着と、進路希望が実現できる確かな学力の定着を図ります。 ③ 学校図書館について、いつでも誰でも「使える」図書館を目指し、一人ひとりの居場所となるような環境づくりを進めます。 ○進路指導 <ul style="list-style-type: none"> ① 生徒の進路希望の実現に向けて、個人面談及びそのための情報共有の質の向上を行います。 ② 進路指導および高大接続に係わる各種情報を整理し情報発信を行います。 ○生活指導 <ul style="list-style-type: none"> ① 生徒の自己指導能力の向上を図り、高い規範意識と公共の場での倫理観を確立させます。 ② 学校行事・課外活動を通して活力のある西高生を育成します。 ○保健管理 <ul style="list-style-type: none"> ① 生徒の健康状態や健康課題を適切に把握し、生徒が自らの健康課題に取り組めるような機会を設けるとともに、教員・生徒が安全に安心して学ぶことのできる学校環境を確保します。 ② 関係職員との連携をより充実させ、同じ見通しを持って生徒を支援します。 ○人権教育 <ul style="list-style-type: none"> ① 「人権教育はすべての教育活動の前提である」という認識に立って教育活動を行い、人権学習を通じての気づきや学びを、人権問題の解決のために自分の生活や社会状況を変えていこうとする意識につなげます。 ② いじめ防止対策基本方針をふまえ、組織的に未然防止・早期発見・早期対応に努め、「いじめを許さない」学校づくりに取り組みます。
<p>学校運営等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 生徒及び教職員のウェルビーイングの向上を図ります。 ② 高校改革に対応する学校の仕組みや授業の在り方について、カリキュラム・マネジメントの構築を図るとともに、学校関係者評価活動に取り組むことで、学校マネジメントの質を高め、教育活動の向上に努めます。 ③ 教職員が対話を通して関係づくりに努め、業務の平準化を図り、協働し合うことをとおして組織能力を高め、やり甲斐を持って教育活動に邁進できる満足度の高い学校づくりをします。 ④ 年休取得の促進や、定時退校ができるよう業務を整理することなどを定着させ、教職員の総勤務時間の縮減に努め、健康管理と健康維持の取組を行います。 ⑤ コンプライアンスミーティングを定期的で開催することで教職員の不祥事を発生させない土壌づくりに努めます。

4 求める生徒像

<p>入学時に期待される生徒の姿【アドミッション・ポリシー】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組もうとする生徒。 ・高校卒業後の進路実現に向けた取組を、意欲的かつ継続的に行える生徒。
------------------------------------	---

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
1 学習指導の充実	<p>(1) 授業交流をととして、ICT技術の効果的な利用方法について研究し、活用を進めます。</p> <p>(2) 総合的な探究の時間における具体的な指導内容及び標準的日程の確立を図ります。</p> <p>(3) 学校図書館について、教科や他分掌との連携を深め、生徒の読書実態や潜在的な要望を把握し、運営改善につなげます。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業交流を年2回実施します。(6月、11月に各1週間) ・進路探究委員会を各学期1回以上実施します。 ・図書館利用に関する生徒アンケートを実施します。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートで「日々の学習が希望する進路の実現に結びつくと思って取り組んでいる」90%以上 ・生徒アンケートで「授業以外で学校の図書館を利用する頻度が月に1回以上」35%以上 		◎
2 生徒指導の充実	<p>(1) 生徒の自己指導能力向上を図り、状況に応じて適切な行動がとれるように、規範意識やマナーの向上、美化意識の徹底、交通安全に対する意識の向上、自他の生命や人権の尊重などに取り組みます。</p> <p>(2) 生徒や教職員が互いに積極的に挨拶をしあえる状況をつくることで、他者を思いやり、自らを大切にする態度を育て、生徒相互の人間関係を育む取組を推進します。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全講習会を実施します。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートで「自分から先に挨拶する習慣が身に付いている」90%以上 	(年度末および適宜記載)	※
3 特別活動の充実	<p>(1) ホームルーム活動や生徒会活動を充実させると共に、生徒会執行部が中心となり学校行事や学校生活に関する話し合いを活発に行い、学校生活の充実を支援します。</p> <p>(2) 部活動をととして精神面や体力面を鍛え、競技力の向上とともに粘り強く最後までやりぬく姿勢や人間関係を学び、それぞれが最大の成果を発揮できるように支援します。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会執行部を中心に話し合いの場を週3回以上設け、学校生活の充実を図ります。 		※

<p>4 進路指導の充実</p>	<p>【成果指標】 ・生徒アンケートで「学校行事に楽しく参加している」90%以上 ・生徒アンケートで「部活動に頑張っており取り組んでいる」90%以上</p> <p>(1) 進路に関する知識や情報を収集・理解し、個人面談や進路検討会を通じて生徒個々の情報を教員間で共有し進路実現への道筋を用意します。 (2) Chromebook 及びポートフォリオ教材である「四西手帳」を活用してデジタルとアナログを両立させ、自発的な学習習慣、進路意識の育成を支援します。生徒自身でのPDCAの構築を目指し学年と連携し、生徒の学習支援活動を行います。 (3) 生徒の進路実現のため、個人に応じた多様な入試に対する指導の共有及び入試情報の共有を行います。また、ICTを活用し、生徒に対してガイダンスを行い個に応じた進路実現を支援します。</p> <p>【活動指標】 ・学習時間調査を実施します。 ・進路ガイダンスを実施します。</p>		◎
<p>5 人権教育の充実</p>	<p>【成果指標】 ・生徒アンケートで「進路に関する情報を積極的に収集している」85%以上、「家庭学習の習慣が身に付いている」60%以上 ・3年生の生徒アンケートで「卒業後の進路を具体的に考えている」90%以上</p> <p>(1) 人権教育推進計画のもと、他者の声を聴き、話し合い、問題を解決するために努力する資質を養います。</p> <p>【活動指標】 ・各学期人権 LHR 実施します。 ・人権講演会を実施します。</p> <p>【成果指標】 ・生徒アンケートで「人権 LHR の内容について理解できた」70%以上</p>		◎
<p>6 保健管理の充実</p>	<p>(1) 生徒自身が心身の健康状態を理解し、自己管理できるように促していきます。生徒の心身の健康状態の変化や問題点を早期発見するため、学年団等と連携を取ります。 (2) 危機発生を未然に防ぎ、適切な学校環境衛生を確保します。 (3) 会議・研修会を利用し、教職員の保健・教育相談分野等への知識・理解向上を図ります。</p> <p>【活動指標】 ・安全点検を年2回実施します。 ・保健・教育相談分野の職員研修会を実施します。</p>		※

改善課題
(年度末に記載)

(2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
1 組織運営	<p>(1) 目指す学校像の実現のため、カリキュラム・マネジメントを推進します。</p> <p>① 学期ごとを目安に、各分掌、学年で年度当初の目標の達成度、課題、改善策を検討し、それを全体で共有し、即効性のあるPDCAサイクルを構築します。</p> <p>② 日常的に分掌、学年会において業務遂行に必要な情報が適切に共有、活用されることで、課題解決について議論が進展するように努めます。</p> <p>③ 企画運営委員会において当面の教育課題に加え、中長期的なビジョンについて協議します。また、柔軟かつ即効的な対応をするために、関係する企画運営委員でのミーティングを随時、開催します。</p> <p>(2) 学校への信頼向上のため、学校信頼向上委員会を中心に、現状と課題、さらには直近の教育活動における留意点を確認し、職員全体に共有し、職員の不祥事根絶に向けた取組を行います。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画運営委員会において中長期的なビジョンについて協議します。 ・コンプライアンスミーティングを年7回以上実施します。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目指す学校像の実現に向けて、課題を理解し、協議に参画することができた85%以上 	(年度末および適宜記載)	※
2 研修・研究の推進	<p>(1) 高大接続改革における、大学入試共通テストや総合型選抜、学校推薦型選抜など新たな入学者選抜に適切に対応できるよう、情報収集・分析や研修を進めます。</p> <p>(2) ICTを活用した授業で効果的な学習に繋がるか、研修会、情報交換を行い、研究を進めます。教員のICT活用技術を向上させる取組を進めます。</p> <p>(3) 人権問題に関する知識理解を深めるため、教職員研修を実施します。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報分析会を実施します。 ・教職員人権研修会を実施します。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員アンケートで「新たな大学入試制度について、昨年度より理解を深めることができた」80%以上 		◎

<p>3 業務改善と職員健康管理</p>	<p>・教職員アンケートで「ICT の効果的な活用について昨年度より技術の向上を図ることができた」80%以上 ・教職員アンケートで「人権意識を昨年度より高めることができた」85%以上</p> <p>(1)日常的に教職員の健康管理に努めるとともにワークライフバランスの改善に向け行動します。 (2)総勤務時間の縮減に向け継続して取り組みます。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設定した日の定時に退校できた教職員の割合 85%以上 ・ 予定通り週 1 回以上休養日を実施できた部活動の割合 93%以上 ・ 放課後に開催して 60 分以内に終了した会議の割合 85%以上 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外在校等時間が年 360 時間を超える教職員数 0 人 ・ 時間外在校等時間が月 45 時間を超える教職員の延べ人数 0 人 ・ 1 人当たりの年間休暇取得日数 12日以上の教職員 85%以上 ・職員アンケートで「健康面で不安を感じたことがない」55%以上 		◎
<p>4 情報提供、地域連携</p>	<p>(1)本校の教育活動をホームページやすぐーる、学年通信や報道資料提供により積極的に情報発信します。</p> <p>① 保護者の学校行事への参加を呼びかけます。 ② 桜地区自治会など、地域から参加要請のあった各種行事へ積極的に参加します。 ③地域の中学校との交流を行います。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報道機関への資料提供を年 2 回以上実施します。 ・桜地区自治会や桜中学校などと、地域との連携を行います。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートで「子どもの学校生活について学校・家庭・地域が連携できている」80%以上 		※
改善課題			
(年度末に記載)			

6 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	(年度末に記載)
----------------------------	----------

7 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)

令和7年度 学校マネジメントシート

学校名(四日市西高等学校)

1 目指す姿

(1)目指す学校の姿	・自主・自律をモットーに、地域から信頼される活力ある進学校を目指します。	
(2)	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	・自ら学ぶ喜び、わかる楽しさを実感できる生徒。 ・生徒一人ひとりの持つ力を伸ばし、それぞれの目指す進路を実現できる生徒。
	ありたい教職員の姿	・教育の専門集団として力を高め、協働して活力ある教育活動を創造できる教職員。 ・「信頼」を軸に、生徒、保護者はじめ全ての関係者との絆を深め、安全で安心して学べる教育環境を創造できる教職員。

2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒>学習指導などを通して、粘り強く進路実現をしたいと望んでいます。しかし、やや受動的傾向があり、自分から積極的な行動に移せない面がみられます。</p> <p><保護者>様々な情報提供を受けて、子どもの成長を実感し、本人が望む進路選択をさせたいと望んでいます。</p> <p><地域>地元の中学生在が入学したいと思える、頼れる学校であってほしいと期待されています。</p>	
(2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保幼小中からは、模範となる高校生としての行動を期待されています。 ・保護者からは、生徒が自己実現を果たせるよう、希望する大学や上級学校などへ円滑に接続できる、確かな学力や生きる力をつける指導が期待されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・桜地域の高校として、本校の教育活動に理解・支援をしていただくとともに、忌憚のない意見や提言をいただきたい。 ・小中高の一層の連携を深め、地域全体で生徒を育む取組を一緒に進めていただきたい。
(3)前年度の学校関係者評価など	<ul style="list-style-type: none"> ・各種アンケートについては、前年度比較ができるようにしたほうが良い。 ・地域との連携について、今後も深めてほしい。 ・健康に不安がある教職員の割合が高まっており、働き方改革をより進めていく必要がある。 	
(4)現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が4年制大学に進学する普通科高校で、卒業生は地元をはじめ全国各地で活躍しています。普通科の中に比較文化・歴史コース、数理情報コースを設置して、普通科の中から、さらに学びの視野を広げ、難関大学への進学という自己実現を図りたいとする要望に応じています。入学者選抜では、前期選抜で各コースの定員の25%、後期選抜で残り75%を両コースのくくり募集としています。 ・例年、近隣の中学校からの入学者が多く、本校の教育活動が地域から評価と信頼を得ていると判断できます。一方で生徒の学力幅や個性は以前よりも広くなり、一人ひとりの状況に対して満足いく高校生活や進路を実現させていくことが引き続きの課題です。
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心して学べる教育環境づくりに努めています。 ・大規模地震等災害に備え、四日市市の指定避難所として地域住民の防災避難訓練等を受け入れています。 ・教職員の総勤務時間の縮減と勤務の平準化が課題となっていることから、教職員の健康管理に留意しつつ継続的に様々な取組を行う必要があります。 ・教員による不祥事が県内で発生していることから切れ目なく職務に対する責任感を認識させることや管理職に相談しやすい雰囲気作りに努める必要があります。

3 中長期的な重点目標

<p>教育活動 【カリキュラム・ポリシー】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導 <ul style="list-style-type: none"> ① ICTを活用した質の高い授業の創造に努め、生徒が自ら学ぶ喜び、わかる楽しさを実感出来るよう授業の充実を図ります。 ② 教科マネジメントを確立することにより、学びの仕組みを十分に機能させ、基礎学力の定着と、進路希望が実現できる確かな学力の定着を図ります。 ③ 学校図書館について、いつでも誰でも「使える」図書館を目指し、一人ひとりの居場所となるような環境づくりを進めます。 ○進路指導 <ul style="list-style-type: none"> ① 生徒の進路希望の実現に向けて、個人面談及びそのための情報共有の質の向上を行います。 ② 進路指導および高大接続にかかわる各種情報を整理、対応し情報発信を行います。 ○生活指導 <ul style="list-style-type: none"> ① 生徒の自己指導能力の向上を図り、高い規範意識と公共の場での倫理観を確立させます。 ② 学校行事・課外活動を通して活力のある西高生を育成します。 ○保健管理 <ul style="list-style-type: none"> ① 生徒の健康状態や健康課題を適切に把握し、生徒が自らの健康課題に取り組めるような機会を設けるとともに、教員・生徒が安心して学ぶことのできる安全で適切な学校環境を確保します。 ② 関係職員との連携をより充実させ、同じ見通しを持って生徒を支援します。 ○人権教育 <ul style="list-style-type: none"> ① 「人権教育はすべての教育活動の前提である」という認識に立って教育活動を行い、人権学習を通じての気づきや学びを、人権問題の解決のために自分の生活や社会状況を変えていこうとする意識につなげます。 ② いじめ防止対策基本方針をふまえ、組織的に未然防止・早期発見・早期対応に努め、「いじめを許さない」学校づくりに取り組みます。
<p>学校運営等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 高大接続改革等の教育改革に対応しうる学習の仕組みや授業の在り方について、カリキュラム・マネジメントの構築を図るとともに、学校関係者評価活動に取り組むことで、学校マネジメントの質を高め、教育活動の向上に努めます。 ② 教職員が対話を通して関係づくりに努め、業務の平準化を図り支え協力し合うことを通して組織能力を高め、やり甲斐を持って教育活動に邁進できる満足度の高い学校づくりをします。 ③ 年休取得の促進や、定時退校ができるよう業務を整理することなどを定着させ、教職員の総勤務時間の縮減に努め、健康管理と健康維持の取組を行います。 ④ コンプライアンスミーティングを定期的で開催することで教職員の不祥事を発生させない土壌づくりに努めます。

4 求める生徒像

<p>入学時に期待される生徒の姿【アドミッション・ポリシー】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組もうとする生徒。 ・高校卒業後の進路実現に向けた取り組みを、意欲的・継続的に行える生徒。
------------------------------------	--

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重要取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
1 学習指導の充実	(1) 授業交流に関し、プロジェクター等、ICT機器の利用促進を兼ね、「利用後アンケート」等を絡めたうえで再活性化を図ります。 ※授業交流状況 (2) 総合的な探究の時間における具体的な指導内容及び標準的日程の確立を図ります。 ※進捗状況 (3) 学校図書館について、教科や他分掌との連携を深め、読書実態や潜在的な要望を把握し、運営改善につなげます。 ※アンケート実施	・授業交流を2回実施した。 ・進路探究員会を各学期1回開催しあり方を協議した。 ・国語科と連携して、テーマに関連した情報(本)収集体験を実施した。(1年生)また、新聞を活用した授業を実施した。(1,3年生公民科) ・生徒アンケートを実施し、要望を選書等に反映させた。また3年生は自主的な利用者が昨年よりも増加した。	◎
2 生徒指導の充実	(1) 生徒の自己指導能力向上を図り、状況に応じて適切な行動がとれるように、規範意識やマナーの向上、美化意識の徹底、交通安全に対する意識の向上、自他の生命や人権の尊重などに取り組みます。 (2) 生徒や教職員が互いに積極的に挨拶をしあえる状況をつくることで、他者を思いやり、自らを大切にする態度を育て、生徒相互の人間関係を育む取組を推進します。 ※講習実施及び指導状況	・自転車通学生のヘルメット着用率は少しずつ上がっているが、来年度は100%を目指していきたい。 ・服装指導が十分にできなかったため、今後は学校全体で取り組めるよう呼び掛けていきたい。 ・挨拶は自主的にできるようになってきている。	※
3 特別活動の充実	(1) ホームルーム活動や生徒会活動を充実し、生徒会執行部が中心となり学校行事や学校生活に関する話し合いを活発に行い、学校生活の充実を支援します。 (2) 部活動をとおして精神面や体力面を鍛え、競技力の向上とともに粘り強く最後までやりぬく姿勢や人間関係を学び、それぞれが最大の成果を発揮できるように支援します。 ※生徒満足度	・アンケートで97%の生徒が学校行事に楽しく参加していると回答している。 ・アンケートで92%の生徒が部活動に頑張っており取り組んでいると回答している。	※
4 進路指導の充実	(1) 進路に関する知識や情報を収集・理解し、個人面談や進路検討会を通じて生徒個々の情報を教員間における共有を通じて進路実現への道筋を用意します。 ※生徒満足度 (2) Chromebook及びポートフォリオ教材である「四西手帳」を活用してデジタルとアナログを両立させ、自発的な学習習慣、進路意識の育成を支援する。生徒自身でのPDCAの構築を目指し学年と連携し、生徒の学習支援活動を行います。 ※指導状況及び進路結果 (3) 生徒の進路実現のため、個人に応じた多様な入試に対して指導の共有及び入試情報の共有を行います。またICTを活用し、生徒に対してガイダンスを行い個々に応じた進路実現を支援します。 ※ガイダンス実施状況	・入試方法の変更などが多いため、進路指導部と3学年団の共有フォルダーに入力し情報共有を図った。 ・ガイダンスの資料の他、共通テストの資料は冊子ではなく各自でダウンロードとなったため、学校からも配信した。重要事項については丁寧な確認を行った。 ・推薦入試、国公立入試など、希望者参加型のガイダンスを行った。共通テスト等、WEB出願への変更に伴う情報発信を行った。	◎
5 人権教育の充実	(1) 人権教育推進計画のもと、人権LHRや人権講演会などを実施し、他者の声を聴き、話し合い、問題を解決するために努力する資質を養います。 ※アンケート分析	・北勢地区別人権学習活動交流会にて、平和学習で学んだことについて、生徒3名が発表を行った。	◎

<p>6 保健管理の充実</p>	<p>(1) 生徒自身が心身の健康状態を理解し、自己管理できるように促していきます。生徒の心身の健康状態の変化や問題点を早期発見するため、学年団等と連携を取ります。 ※学年団との連携状況</p> <p>(2) 校内の安全点検を実施し、危機発生を未然に防ぎ、適切な学校環境衛生を確保します。 ※年2回以上</p> <p>(3) 会議・研修会を利用し、教職員の保健・教育相談分野等への知識・理解向上を図ります。 ※年1回以上</p>	<p>・人権 LHR では、全学年で生徒同士の意見交換や話し合いを行う場面が見られた。人権講演会では、自殺防止や生命の大切さについて講演いただき、アンケートの記述について、講師と共有した。</p> <p>・保健室来室者数は12月末現在 744 件(R6年度12月末現在721件)</p> <p>・学年と情報を共有し、連携を取りながら生徒等の対応にあたった。</p> <p>・年2回、安全点検を行った。安全衛生委員会は毎月行った。また定期的な学校環境衛生検査も実施した。</p> <p>・AED やエピペンの研修を行った。</p>	<p>※</p>
------------------	--	--	----------

改善課題

- ・情報の共有については、その方法や活用について今後も検討の必要がある。
- ・職員や生徒への情報提供が印刷物からデータへと変更されることが多くなり、アカウント情報の管理を徹底させる必要など、新たな指導の工夫が必要となってきた。
- ・受験制度の変更などへの対応など、新たに対応する必要がある課題に対して個別の対応が必要となった。

(2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
<p>1 組織運営</p>	<p>(1) 目指す学校像の実現のため、カリキュラム・マネジメントを推進します。 ※実施状況</p> <p>① 学期ごとを目安に、各分掌、学年で年度当初の目標の達成度、課題、改善策を検討し、それを全体で共有し、即効性のあるPDCAサイクルを構築します。</p> <p>② 日常的に分掌、学年会において業務遂行に必要な情報が適切に共有、活用されることで、課題解決について議論が進展するように努めます。</p> <p>③ 企画運営委員会において当面の教育課題に加え、中長期的なビジョンについて協議します。また、柔軟かつ即効的な対応をするために、関係する企画運営委員でのミーティングを随時、開催します。</p> <p>(2) 学校への信頼の向上のため、学校信頼向上委員会を中心に、現状と課題、さらには直近の教育活動における留意点を確認し、職員全体に共有し、職員の不祥事根絶に向けた取組を行います。 ※職員研修の実施</p>	<p>・職員会議等で全体共有して状況の把握に努めた。</p> <p>・企画運営委員会において生徒状況等の把握に努めた。</p> <p>・企画運営委員会において中長期的なビジョンを構築できるよう、現状の教育課題について協議した。</p> <p>・コンプライアンスミーティングや、研修会を実施し、意識向上を図った。</p>	<p>※</p>

2 研修・研究の推進	(1)高大接続改革における、大学入試共通テストや総合型選抜、学校推薦型選抜など新たな入学者選抜に適切に対応できるよう、情報収集・分析や研修を進めます。 ※校内での情報分析会、研修会の実施	・大学説明会については、進学実績、や生徒アンケート結果に基づき、参加校を選択し案内を行った。総合型選抜、推薦型選抜については、外部の研修、分析報告会に絞り、Teams を通じて伝えた。	◎
3 業務改善と職員健康管理	(2)ICTを活用した授業で効果的な学習に繋がるか、研修会、情報交換を行い、研究を進めます。教員のICT活用技術を向上させる取り組みを進めます。 ※授業におけるICT利用状況 (3)人権問題に関する知識理解を深めるため、教職員研修を実施します。 ※研修の実施 (1)日常的に教職員の健康管理に努めるとともにワークライフバランスの改善に向け行動します。 ※職員アンケート「健康面で不安を感じたことがない」55%以上 ① 休暇取得日数実績の向上に努めます。 ※休暇取得11日以上の職員85%以上 ② 毎月、定時退校日を定め全教員が定時退校に努めます。 ※定時退校率85%以上 ③ 全クラブにおいて、授業日以外の部活動休養日を週1日設け、休養に努めます。 ※実施率93%以上 ④ 会議時間が60分以内となるように努めます。 ※主要会議の85%以上 (2)総勤務時間の縮減に向け継続して取り組みます。 ① 職場全体での時間外勤務平均時間数の削減に努めます。 ※前年比で-1時間 ② 当月時間外労働が45時間、年間時間外労働が360時間を超える職員の皆無に努めます。	・全教員対象に研修を実施しスキル向上に努めた。教員が授業等で ICT 利用を2回に1回以上行うように努めた。 ・人権に関する教職員研修を実施した。 ・職員アンケートは 45%となり改善が必要。	※
4 情報提供	(1)本校の教育活動をホームページやすぐーる、学年通信等により積極的に情報発信します。また、報道関係機関への情報提供を積極的に行います。 ※報道提供 2 回以上 ① 保護者の学校行事への参加を呼びかけます。 ② 桜地区自治会など、地域から参加要請のあった各種行事へ積極的に参加します。 (2)50周年記念事業の円滑な実施を図ります。 ※記念事業の実施状況	・令和7年で88%の教職員が11日以上取得し達成。(特休含) ・96%を超え目標を達成した。 ・実施率は97%となり、達成できた。 ・60分以内は68%となり改善が必要。 ・前年度より時間外勤務平均時間数は減ったが、未達成。 ・減少傾向だが皆無には至らなかった。 ・ホームページやすぐーるの発信を強化した。報道への資料提供は4回行った。 ・体育祭や文化祭で参加を呼び掛けた。 ・人権活動などや文化活動で生徒が参加を行った。 ・記念式典を実施し、記念誌の発行に向けて取り組んだ。	※
改善課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営の課題について、柔軟にミーティングを行うなど即応できる体制の構築が必要である。 ・教職員の現職教育について、人権などの分野でも研修の充実を図る必要がある。 ・職員の健康への不安を取り除けるよう、業務の精選を図り、総勤務時間の縮減を図る必要がある。 ・AIの活用方法など、職員が必要としている情報が適切に共有されるよう、検討が必要である。 			

6 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	<ul style="list-style-type: none">・生徒や保護者のアンケートについて、学年別の集計を比較することにより学年が進むにつれてどのように意識が変化しているかを把握したほうが良い。・広報活動について、Webでの広報も良いが地域の方が学校の様子を知るのは新聞によることが多いので、掲載されるよう働きかけを続けてほしい。・進路探究の成果がアンケートの結果にも表れており、今後も継続した取り組みで効果が期待される。・地域の中学校との連携を進めることで、中高が互いに良い影響を得ることが期待できる。
---------------------	---

7 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	<ul style="list-style-type: none">・生徒の学力状況について把握に努め、その結果に基づいた教育活動の充実を図る。・四西手帳のさらなる活用に向けて、具体的な使用方法の指導を進める。
学校運営についての改善策	<ul style="list-style-type: none">・企画・運営委員会において、学校経営の課題について検討を進める。・各種の教育課題に対して、現職教育の充実を図る。・地域の中学校との連携を進める。・生徒及び教職員のウェルビーイング向上に向けた取り組みを進める。